

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年 4月 10日

計画の名称	9 準工業地域の活性化を図るための都市基盤整備計画									
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)			交付対象	生駒市					
計画の目標	生駒市北部に位置する準工業地域の活性化を図るため、地域高規格道路である清滝生駒道路（国道163号バイパス線）事業と連携し、北田原工業団地及び周辺地域の道路等基盤整備を行うことで渋滞を解消するとともに、当該地域の防災機能向上や環境面の改善を行う。									
計画の成果目標（定量的指標）	①北田原工業団地内の主要路線の混雑度を0.9以下にする。 ②北田原工業団地内事業者へのアンケート調査による環境面の満足度を60%以上にする。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
① 混雑度（交通量÷交通容量）を計測する。							2.28	2.28 以下	0.9 以下	
② アンケート調査の実施（環境面が良いと思われる数）							5%	5% 以上	60% 以上	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	324百万円	A	324百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	令和2年1月～3月
定量的指標の実績値を測定のもと、市において事業効果の発現状況を考察する。	公表の方法
	生駒市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
9-A1	道路	一般	生駒市	直接	-	市町村道	改築	北田原南北線	L=694m	生駒市						184	
9-A2	道路	一般	生駒市	直接	-	市町村道	改築	北田原中学校線	L=584m	生駒市						133	
9-A3	道路	一般	生駒市	直接	-	市町村道	改築	高山北田原線	L=40m	生駒市						7	
											合計	324					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
											合計	-					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
-	-																

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
										合計					—	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
—	—															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>北田原南北線の道路整備を行った結果、交通が転換し、北田原工業団地内の主要路線の混雑度が従前より低くなった。</li> <li>北田原南北線開通前後における該当路線、周辺状況について、学研生駒テクノエリアに属する事業所にアンケート調査を行った結果、渋滞解消や安全性向上等に関して概ね満足しているといった回答を得ることができた。</li> </ul>														
II 定量的指標の達成状況	指標①（上村大橋交差点の交差点需要率削減率）	最終目標値	0.9 以下	目標値と実績値に差が出た要因	事後評価時完成予定であった、北田原中学校線等の道路整備事業が整備中であるため。											
		最終実績値	1.48													
	指標②（新市街地化区域内における民間集客施設等の立地率）	最終目標値	60% 以上	目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値	78%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																

## 3. 特記事項（今後の方針等）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--